

＜ 総 評 ＞

園名： 北須磨保育園

	項目	評価の高いところ
I	福祉サービスの基本方針と組織	<p>① 理念・基本方針は、福祉活動と幼保一元化の実績をふまえ、個々の尊厳を重視した使命や方向性が認められる。</p> <p>② 「計画の策定」「管理者の責任リーダーシップ」については、自己評価は低く評価されていたが、訪問調査の結果、職員が一丸となって多くの見直し 改善がなされていた。</p>
II	組織の運営管理	<p>① 理事長・事務長・園長による経営状況の分析・改善の課題に対するの整備が出来ていた。</p> <p>② 人事考課も定期的に実施され、対応の必要な職員には個別に関わり、資質の向上に努めている努力が見られた。</p> <p>③ 地域社会との根強い交流を通して、地域市民を巻き込んだ福祉サービスに、保育園が重大な役割を果たしている努力が見られた。</p> <p>④ 各項目ごとに書面確認する中で必要とする書類が整備されていた。</p>
III	適切な福祉サービスの実施	<p>① 入園のしおり、園の案内、ホームページなどが整備されている。</p> <p>② しおりとホームページは、より雰囲気伝わりやすいように写真を取り入れ、カラフルな親しみの持てるものとなっている。</p> <p>③ 保育参加・個別懇談・グループ懇談会も実施され、連絡帳も作成されている。</p> <p>④ 苦情解決の仕組みについて、入園のしおりにも明記され、保育園内にも掲示されている。</p>
		<p>⑤ 一人ひとりの子どもの発達状況・保育目標・保育の実際について話し合う為のケース会議も行っている。</p>
IV	実施する福祉サービスの内容	<p>① 生活環境(住・食)の整備、衛生管理、健康管理、安全管理面において、個々の子どもの発達段階や課題に応じた援助を遂行していこうとする職員の真摯な姿勢を確認する事が出来た。</p>
	総合所見	<p>昭和40年からの北須磨団地の地域活動として、北須磨保育センターは、老人福祉・障害者福祉・乳幼児保育に取り組み、特に幼保一元化を立ち上げた歴史も長く、現在は積極的に子育て支援活動が進められている。日々の保育にとっては、個々の子どもの発達段階や課題に応じて、職員が一丸となって総理解を深め、保育の向上へと意欲的に取り組み、多くの見直し改善がなされていた。これからも、長い歴史の歩みを受けとめ、三者(保育者・保護者・地域)の協力のもとに子どもの思いをくみ上げつつ、北須磨保育センターとしてより良い事業が進められるように望まれる。</p>